

助成事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人 Via Eterna

代表者・役職名 氏名 理事長 大畠 美奈子

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないもの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

食堂スペースの機能拡充事業

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

当ホームは平成 16 年に開設した。開設から現在に至るまで、子どもとかかわる中心的な職員はほとんどかわっていない。この中心的な職員は、当ホーム開設以前から高齢児の自立援助をする職に携わってきたが、様々な事情でなかなか思うようなかかわりをできずにきた。平成 16 年に機会を得て、子どもへの思いを一つに自立援助ホーム Cape Diem を始めることができた。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

近年、退所児童がホームとのつながりを持つ機会が増え、入居児童の在籍期間も長引く傾向がある。ホームに安定的な雰囲気や安心できる関係性を作るために、時期ごとに皆で集い、食事会などする機会は重要である。しかし、皆が集う食堂は、据付食器棚があるため狭く、皆が余裕をもって座れない。職員が食卓の輪から少し外れるようしているが、子どもも気を遣う。子どもたちは食事やゲームをするのを楽しみにしているので、据付食器棚を撤去し、食堂のスペースを有効に活用できるようにしたい。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

改修工事内容は据付食器棚の撤去。新たに購入した品目として、食器棚 1 台/キャスター付きキッチンワゴン 1 台/エアコン 1 台/折り畳みテーブル 1 台/折り畳みイス 4 脚/ホットプレート 1 台/フライパン 2 個/空気清浄機 1 台。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

食堂の食器棚が撤去されてスペースが拡張されたことで、期待していた以上に食堂が開放的になった。以前の暗い感じがなくなり、すっきりとした空間で子どもらの食事をする様子が見えやすくなったのと同時にコミュニケーションがとりやすくなった。子どもたちからも職員が食事を作っているのを見やすくなつたことで、日々の生活の一部として調理があることや、職員とのつながりを感じやすくなつているようである。誕生会や歓迎会などで皆が集う際にも、以前のような圧迫感はなくなり、大勢でのだんらんが過ごしやすくなつた。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

プロジェクト実施にあたっての課題は、季節ごとの行事やちょっとした食事会などの回数を増やし、定着させていくこと。今後の展望として、子どもたちが安心して、当たり前の生活をより一層楽しく過ごせる環境づくりをしていくと考えている。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり · 特になし

